

(1) 田のしごと

米は、どの農家でも作っています。とくに玉川村の西部地区では多く作っています。米づくりにあった土地だからです。しゅうにゆうの一ばん多い作物です。

つぎのことについて、かんさつしたりしらべたりしてみましょう。

- 米はどのようにして作るか。
- 米を作るのに、どんなくふうをしているか。
- 田のようすは、どのようにになっているか。
- できた米は、どうするのか。

① 米を作るくふう

- よいたねもみをえらんでじょうぶななえをそだてる。
- いねがよくそだつように、ひりょうや水について気をくばる。

このほかに、いろいろなくふうやどりょくをしています。しらべてみましょう。



きかいでの田うえといねかり、だっこく



◦ いねのなえを、きょうどうでそだてている農家もあります。

◦ きかいを使って、田うえをしたり、いねかりをする農家が多いです。

◦ 低温や日照ぶそくなど、天こうふじゆんな年は、いねがよく実らないので、農家の人は大へんこまります。

◦ いねの病気や虫の害をふせぐため、ヘリコプターを使った大がかりな方法もとっています。

◦ 大がたのきかいを使うようになり、けがをする人もいます。

◦ できた米は、農業きょうどう組合(農きょう)をとおして郡山須賀川・石川などの米販売ぎょう者に売られます。